

令和元年6月13日

都内私立中学高等学校
校 長
教 務 担 当 教 諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近 藤 彰 郎
東京私学教育研究所長 須 藤 勉
教務運営研究会委員長 守 随 憲 道
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

教務運営研究会「講演会」のご案内

「生徒が対話的に深く考えるための仕掛け」

次第に夏めいてまいりましたが、先生方におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、今回の講演は、京都大学高等教育研究開発推進センター教授 松下佳代先生 にお願ひしました。未来を生きる生徒たちに求められる能力を育成する、対話的で深い学びを促進するための仕掛けについてご講演いただきます。ご存知の通り、松下先生は<新しい能力>や深い学びについての研究に於ける第一人者ですが、中学校・高等学校の現場においても様々なリサーチやアドバイス等の活動を積極的に行っているらしいので、現場に密着した有意義なお話をうかがえることと思います。

期末考査や学校行事等でお忙しい時期とは存じますが大変参考になるご講演ですので、是非ともお誘い合わせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和元年7月5日(金) 18:00~20:00 (質疑応答を含む)
(受付開始17:30)
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室 千代田区九段北4-2-25 Tel 03(3261)9921 (代)
※ 裏面案内図をご参照ください。
3. 講 師 松下 佳代 先生 (京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授)



【プロフィール】

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程学修認定退学。京都大学博士(教育学)。
日本カリキュラム学会代表理事、大学教育学会副会長、日本学会会議員、中央教育審議会
教学マネジメント特別委員会委員。

専門は教育方法学(特に能力論、学習論、評価論)。1990年代以降提唱されるようになった
(新しい能力)(リテラシー、コンピテンシーなど)や学校・大学での形成のあり方について、
カリキュラム・授業・評価などの点から批判的に検討している。中高や大学の教員と一
緒に実践を作りながら、実践をふまえた理論の構築をめざしている。

主な編著書に、『パフォーマンス評価』(日本標準)、『<新しい能力>は教育を変えるか』(ミ
ネルヴァ書房)、『ディーブ・アクティブラーニング』(勁草書房)など多数。

4. 内 容 各教科や総合において対話的で深い学びを生み出すために用いている「対話型論証モデル」について、大阪の私立高槻中学校・高等学校での取り組みを中心にご紹介します。
5. 定 員 80名 (申し込み順⇒定員になり次第締め切ります)
6. 参加費 無 料 (当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)
7. 申込方法 7月1日(月)までに Web または FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所




検 索

東京私学教育研究所 教務運営研究会 担当：板澤・中島・中山
TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内

-  地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口
-  地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口
-  JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

教務運営研究会「講演会」参加申込書〔7月5日(金)実施〕

学 校 名	氏 名 (ふりがな)	担当教科

上記の通り申し込みします。

東京私学教育研究所 御中

令和元年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です) 申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等

FAX番号: